



Title	彙報
Author(s)	
Citation	懐德. 1964, 35, p. 71-72
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90400
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

彙報

(懷德堂記念會)

○秋季講座 昭和三十八年九月三十日(月)より十月五日(土)まで、本會及阪大文學部主催、朝日新聞社後援で、阪大本部松下會館講堂に於て、毎日午後六時半より八時まで、懷德堂講座第二十六回開講、聽講者延三百二十名。

演題と講師

米歐を巡つての所感
—東西の文化と將來—

阪大教授 木村 英一先生

日本人の評價

阪大教授 大阪市大 内多 稔先生

—アメリカとイギリスの場合—

阪大教授 大阪外大 助教 伊地智善繼先生

歐米に於ける外國語教育
—極東語を中心として—

阪大講師 牧田 諦亮先生

東南アジアの佛教
—アジアの光—

京大助教授 清水 茂先生

香港の一年

京大助教授 清水 茂先生

アメリカの日本研究

阪大助教授 梅溪 升先生

○記念祭典 昭和三十八年十月五日(土)北濱本會(適塾内)

に於て、午後一時より記念祭典を執行し、新に鈴木虎雄先生を奉祀した。次いで同一時四十分より記念講演會を開き、大阪大學教授宮本又次先生の「懷德堂の經濟思想」と題する講演があつた。

○評議員中根貞彦氏 昭和三十九年一月二十四日逝去。

○昭和三十八年十月一日『懷德』第三十四號發行。

○同年十月五日懷德堂恒祭に、委員參列、奉仕。

○昭和三十八年十月二十七日(日)滋賀縣金剛輪寺(通稱松尾寺)見學。參加者二十五名。

○昭和三十八年十二月十五日、委員永原武夫氏死去。

○昭和三十九年一月十五日、委員補佐喜多芳子氏死去。

右兩氏共多年本會のため盡され、眞に哀悼に堪えない。

○昭和三十九年三月三十一日 理事天野利武氏退任。

○昭和三十九年四月一日 時野谷勝氏(大阪大學文學部長)理事就任。

演題と講師

論語の鄉黨篇
陶淵明と現代
阪大教授 木村 英一先生

周濂溪の通書
日本上代の詩
鄂君啓節について
—楚國の社會と文化—
阪大助教授 佐藤 震二先生

女大助教授 小島 灵之先生

大阪市大教授 大島 利一先生

奈良女子大教授

京大助教授 湯淺 幸孫先生

(懷德堂堂友會)

○昭和三十九年四月二十九日（日）兵庫縣太山寺を、關西學院

大學齊藤孝先生の指導で見學。參加者三十名。（見學後、有志で

明石市の本立寺に、懷道堂初代教授松山直藏先生の展墓をした）

○昭和三十九年七月五日（日）齊藤孝先生の指導で奈良西大

寺、般若寺見學、參加者三十名。（西大寺では特に大茶盛りを

いただいた）

○委員異動（昭和三十九年九月一日）委員桐木梅之助（委員補
佐）委員川尻進（委員補佐）委員山口正男（委員補佐）委員補
佐中川幸三（委員）委員補佐酒井全太郎（委員）委員補佐田中
昭子